事業報告（2023 年度）
バイオプロジェクト株式会社

http://www.bioproject.co.jp/（会社全体）
http://seasonsview.net/（開発事業部）

１．設立の目的

人間の健康と生活の向上、疾病の防除・治癒、そして動・植物の成長促進、疾病防除を目的とし、さらに薬剤に過度に依存しない社会形成をめざして、機能微生物の探索と実用化を行う。開発・実用化は、主にウイルスの不活化と動・植物の免疫増進機能を保持する微生物株を対象に行う。

2006 年　2 月：宮崎大学発ベンチャー企業バイオプロジェクト有限会社を設立（同年 5 月に、新会社法施行により株式会社へ変更）
同　　10 月：鶏インフルエンザウイルスを不活化する機能微生物を発表
2009 年　6 月：蜜蜂の増殖促進、ウイルス等疾病防除のための機能微生物を発表し実用化
2012 年　1 月：日本における機能微生物の特許権承認
2013 年　8 月：（国立研究開発法人）動物衛生研究所において、機能微生物によるコロナウイルスの不活化と動物免疫活性増進作用を証明
2014 年　1 月：台湾における機能微生物の特許権承認
同　　2 月：競走馬のウイルス疾病防除に適した微生物製品を、北海道大手 3 生産牧場が採用
同　　5 月：健康食品「ベーシックウイン」「ビープルミエ」を発売
2018 年　11 月：植物（野菜、果実）の疾病防除、生長促進微生物の登録
2023 年　7 月：養蜂用疾病防除、増殖促進微生物の生菌粉末剤を登録・販売

２．共同事業及び共同研究の推進

○（一部上場）食品会社より水産養殖用機能微生物を販売
○（一社）日本養蜂協会より、ミツバチの疾病防除、増殖促進微生物を販売。約 70%の協会員が使用
○農林水産省、（一社）日本養蜂協会の委託研究により、蜜源植物レンゲの繁殖促進に適した機能微生物を研究。レンゲの繁殖・害虫防除効果を実証。
○宮崎県畜産試験場において、機能微生物による養豚・養鶏を行い、従来の抗生物質混合飼料よりも高い体重増加率、および飼料効率の向上結果を得た

３．機能微生物の特徴
〇インフルエンザウイルス、コロナウイルス、花粉症ウイルス等の防除
〇喘息、副鼻腔炎などの原因ウイルスを排除
〇ウイルス性下痢症の防除
〇動物、植物の疾病防除、生長促進
その他

４．特許
国内取得済２件、国外取得済１件（内容：機能微生物によるウイルスの不活化と動植物の成長促進効果）
国内公開１件（内容：花粉症、インフルエンザ、ノロ等ウイルスの抑制・排除）

５．研究報告及び受賞
研究論文　５５編
総説等　　５６編
単著書　　３編

日本海洋学会岡田賞
日仏海洋学会賞
野口遵顕彰会奨励賞
宮崎銀行ふるさと振興基金